

2. トピック① 学内の情報収集

2019年度調査では、学部学生の皆さんの情報環境について大学からの情報へのアクセスを中心に詳細に尋ねたところ、これまで把握できなかった実態が明らかになりました。

Waseda メール確認方法

まず、大学から学生への情報伝達の主要な媒体であるWasedaメールの受信からみましょう。Wasedaメールをどのようにチェックしているか、もっともあてはまるものを1つ選んでもらったところ、図13のように、全体の4分の3は「Gmailアプリでチェックしている」ことがわかりました。「MyWasedaにログイン後に、『Wasedaメール』でチェックしている」のは全体では14%にとどまります。しかし、この値は、文系・理系とも1年生では20%を超えています。また、4年以上では「Gmailアプリ」のほかに「別のアドレスに転送設定してチェック」も16%を占めます。

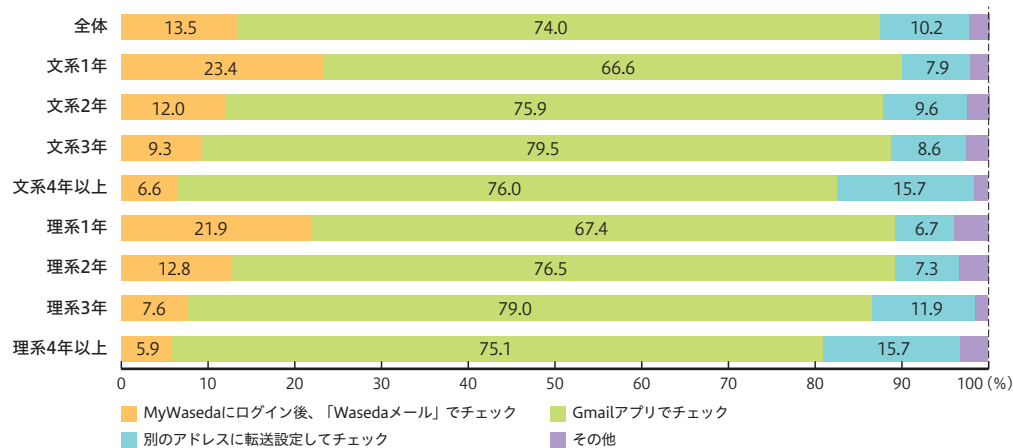


図13 文理・学年別にみたWasedaメール確認方法

つぎにメール閲覧時に主に利用しているメディアをみます。図14のとおり、圧倒的に「スマートフォン・タブレット」を利用しています。全体の86%を占めています。そのほかには「自分または自宅のPC」が14%程度です。この比率は、文系・理系1年、理系4年以上で高くなっています。

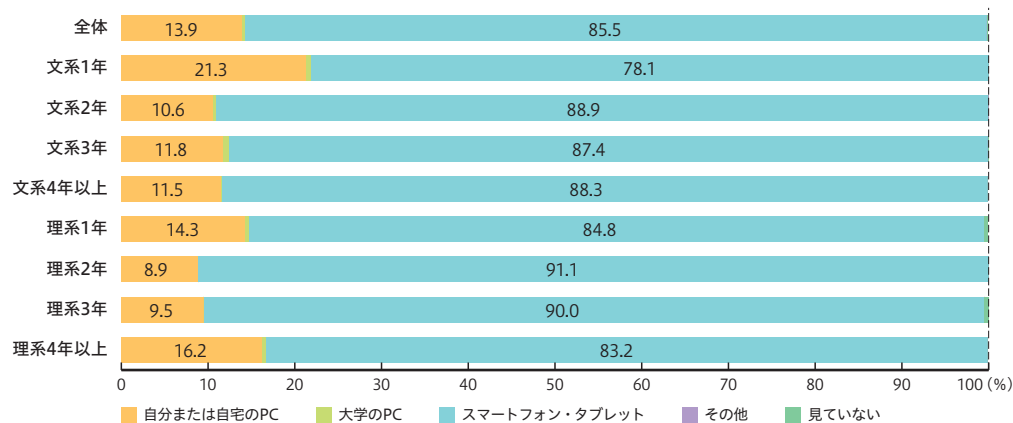


図14 文理・学年別にみたWasedaメール確認媒体

Wasedaメールを「読まない」学生はほとんどいませんが、必ずしもすべてのメールを読んでいるわけではありません。メールの発信元・内容で選択している人も多いようです。本調査では、メールの発信元・内容を7種設定して、「すべてのメールを読む」「件名から必要と思われるメールを読む」「読まない」を尋ねました。

まず全体の傾向を図15で確認すると、メール種別によって異なっています。「修学上の手続き等に関するメール」と「科目担当教員からのメール」は、「読まない」人は皆無に近く、ほぼ全員が「読んで」います。とりわけ「科目担当教員からのメール」については88%が「すべてのメールを読んで」います。

他方で、「留学センターからのメール」「奨学金に関するメール」「キャリアセンターからのメール」については、多くの学生が「件名から必要と思われるメールのみ読んで」います。同時に3割程度が「読まない」としています。同様の傾向は「サークル運営に関するメール」についても当てはまります。「その他学生生活全般に関するメール」については、66%が「件名から必要と思われるメール」を選択し、「読まない」比率は10%にとどまっています。

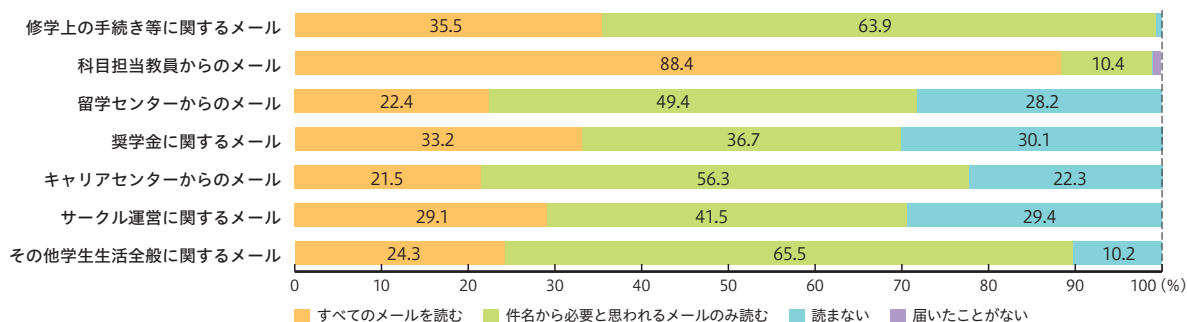


図15 大学からのメールの確認(発信元・内容別)

このうち、「修学上の手続き等に関するメール」について、文理・学年別にみると、文系では低学年ほど「すべてのメールを読む」傾向が強く、文系1年では44%を占めます。対照的に文系4年以上では、75%が「件名から必要と思われるメールのみ読んで」います。こうした傾向は、理系ではみられません。理系では1年と4年以上で「すべてのメールを読む」比率が高くなっています。

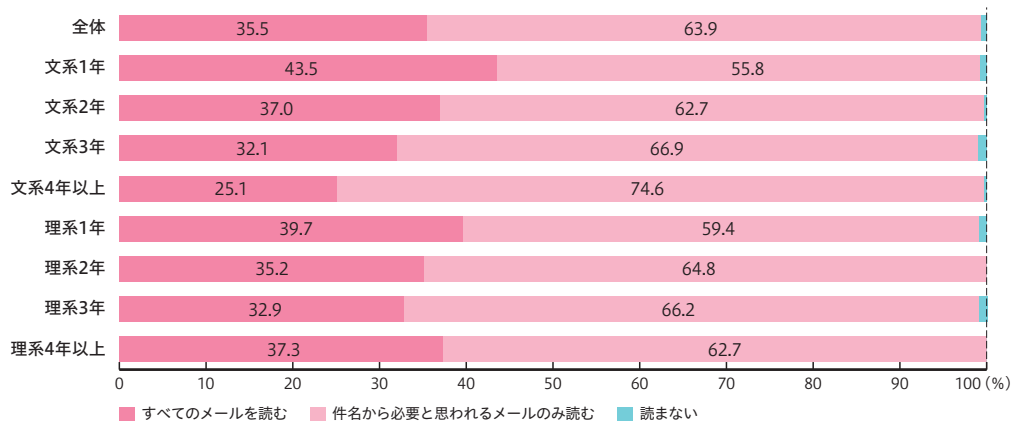


図16 文理・学年別にみた修学上の手続き等に関するメールの確認

では、「キャリアセンターからのメール」ではどうでしょうか。「すべてのメールを読む」比率は理系よりも文系で高くなっています。文系では、「すべてのメール」「件名から必要と思われるメール」を読む比率は、3年生でもっとも高く84%にのびますが、2年生では73%にとどまります。2年生では「読まない」人が4分の1以上を占めています。他方で、理系では「すべてのメールを読む」比率は2年生でもっとも高くなっています。また、1年生では35%が「読まない」としています。これは理系では、就職ではなく大学院進学を入学当初から決めている学生が一定数を占めていることを反映しています。

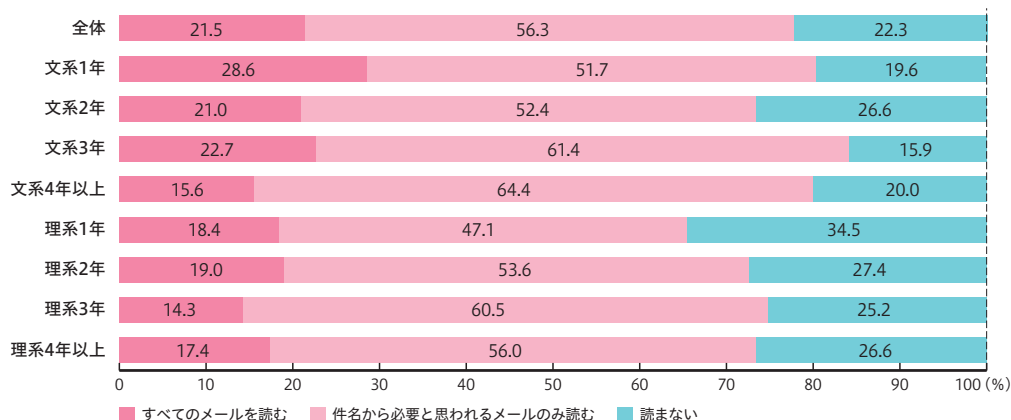


図17 文理・学年別にみたキャリアセンターからのメールの確認

大学設置サイト等の利用・アクセス頻度

現在、早稲田大学では学生の修学支援サイト等として、MyWaseda、Course N@vi、MyPortfolioの3種を設置しています。今回の調査では、これらの利用・アクセス頻度について、調査日の「先週1週間」に特定して、実情を回答してもらいました。表9はその回答と平均日数を示しています。まず全体をみると、MyWasedaの利用頻度がもっとも高く、全体の2割の学生が「毎日」アクセスしています。「5・6日」と合わせると半数近くにおよびます。反対に先週1週間「ログインしなかった」学生はごく少数でした。アクセス平均日数を算出すると、4.1日となっています。Course N@viの利用頻度は、MyWasedaよりも若干低いものの、同様の傾向となっています。平均日数は3.9日でした。他方で、2017年10月に導入されたMyPortfolioは93%の学生が「ログインしなかった」と回答しており、現時点ではほぼ利用されていないといえます。

MyWasedaとCourse N@viの利用頻度を文理・学年別にみると、全体の傾向と同じく、いずれのグループでもMyWasedaの方がCourse N@viよりも利用頻度は高くなっています。そして、両者とも低学年ほど利用頻度が高く、かつ文系よりも理系で高いことがわかります。とくに理系1年生では両者を「毎日」利用している学生が3分の1程度を占めています。平均日数で見ても、それぞれ5.4日、5.1日となっています。

表9 文理・学年別にみた先週1週間での大学設置サイト等の利用・アクセス頻度

		N	毎日(%)	5・6日(%)	3・4日(%)	1・2日(%)	ログインしなかった(%)	平均日数(日)
全体	MyWaseda	3698	19.6	25.3	31.2	19.5	4.3	4.1
	Course N@vi		15.8	24.0	33.2	23.0	4.1	3.9
	MyPortfolio		1.8	1.0	2.0	2.0	93.2	0.3
文系1年	MyWaseda	928	32.1	33.0	25.4	8.3	1.2	5.1
	Course N@vi		26.5	31.8	28.8	11.7	1.2	4.8
	MyPortfolio		2.8	2.3	1.6	1.5	91.8	0.4
文系2年	MyWaseda	759	17.6	28.4	33.3	18.1	2.6	4.2
	Course N@vi		14.0	25.3	35.7	23.2	1.8	4.0
	MyPortfolio		1.9	0.9	2.0	1.7	93.5	0.3
文系3年	MyWaseda	656	12.2	23.3	37.6	21.4	5.5	3.8
	Course N@vi		9.6	21.0	41.8	24.7	2.9	3.7
	MyPortfolio		1.8	0.6	2.6	3.1	91.8	0.3
文系4年以上	MyWaseda	588	6.8	11.6	30.8	39.4	11.4	2.8
	Course N@vi		3.7	9.9	28.4	45.7	12.2	2.5
	MyPortfolio		0.7	0.3	3.1	2.9	93.0	0.2
理系1年	MyWaseda	220	37.1	36.6	19.6	5.4	1.3	5.4
	Course N@vi		31.4	36.8	22.7	8.6	0.5	5.1
	MyPortfolio		3.3	0.5	0.5	0.9	94.9	0.3
理系2年	MyWaseda	179	30.2	33.5	29.6	6.7	0.0	5.1
	Course N@vi		24.6	33.5	36.3	5.0	0.6	4.9
	MyPortfolio		0.6	1.7	2.2	1.1	94.4	0.2
理系3年	MyWaseda	205	15.7	23.3	41.0	18.6	1.4	4.1
	Course N@vi		14.1	25.4	38.5	21.0	1.0	4.0
	MyPortfolio		0.0	0.0	1.9	1.0	97.1	0.1
理系4年以上	MyWaseda	163	10.3	10.9	34.2	34.8	9.8	3.0
	Course N@vi		2.5	6.7	32.5	39.3	19.0	2.3
	MyPortfolio		0.6	0.0	0.6	1.8	96.9	0.1

科目登録の手続きに関する情報の取得方法

「通常、あなたは、科目登録の手続きに関する情報を、何から得ていますか。もっともあてはまるものを一つ選択してください」と尋ねたところ、図18のとおり、「学部やセンターが発行している冊子（学部要項や手引きなど）」がもっとも多く、全体の37%を占めています。ついで「MyWasedaのお知らせ」と「大学や学部のHP」がそれぞれ18%となっています。他方で、これは文理・学年別に傾向がみられます。文系・理系とも、低学年では「MyWasedaのお知らせ」の利用頻度が高く、高学年で「大学や学部のHP」が高くなっています。高学年になると、各媒体で得られる情報の種別を的確に理解していることを反映していると考えられます。文系と理系で対照的な点として、「友人とのやりとり」を活用している頻度です。全体に文系よりも理系で活用頻度が高くなっています。文系では1年生・2年生で1割程度が活用しているのに対し、理系では高学年の3年生・4年生で高率を示しています。

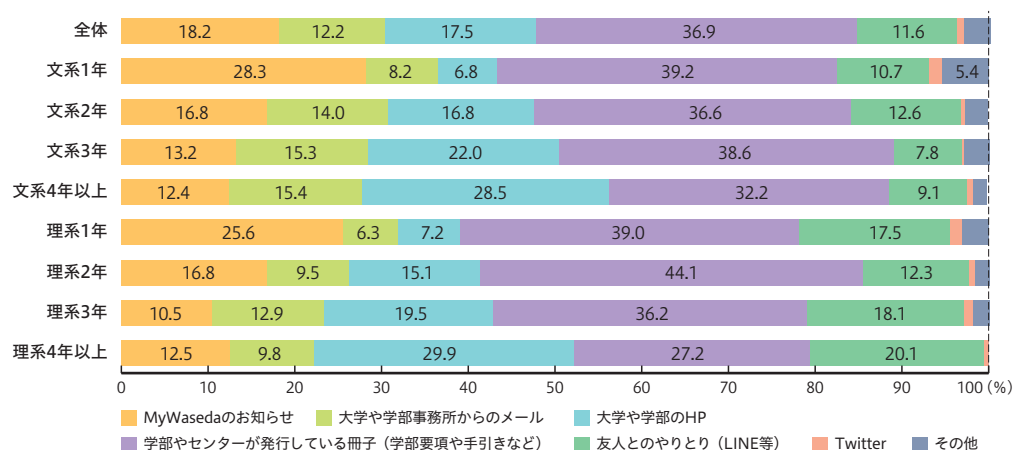


図18 文理・学年別にみた科目登録の手続きに関する情報の取得方法

また、「あなたはこれまでに、科目登録の手続きに関する情報を得る際に、困ったことやトラブルを経験したことがありますか」という問いに対しては、全体で13%が「ある」と回答しています(図は省略)。その比率は、文理・学年別とも一定数を占めています。その具体的な内容は、「履修制限、選外が多い」(希望通り履修できないなど)、「登録方法が難しい」(システムが複雑、登録に時間がかかるなど)、「科目区分が不明」(卒業単位に算入されるかどうか不明など)が多く、低学年ほど「登録方法が難しい」や「情報がわかりにくい」、高学年ほど「履修制限、選外が多い」や「科目取り消し・追加ができない」をあげています。

表10 学年別にみた科目登録の手続きに関する情報を得る際の困ったことやトラブル内訳(自由回答を分類) (%)

	N	情報がどこにあるか不明	情報がわかりにくい	科目検索が複雑・シラバス不明	科目区分(単位算入等)が不明	登録方法が難しい	科目取り消し・追加ができない	履修制限、選外が多い	その他
全体	476	9.9	11.8	7.8	16.0	16.2	6.5	17.2	14.7
学部1年	146	6.2	15.1	4.8	17.8	24.0	5.5	7.5	19.2
学部2年	123	13.0	15.4	11.4	13.8	16.3	3.3	15.4	11.4
学部3年	99	11.1	6.1	6.1	15.2	11.1	6.1	27.3	17.2
学部4年以上	108	10.2	8.3	9.3	16.7	10.2	12.0	23.1	10.2

電子通信機器の利用状況

つぎに、学生の電子通信機器の利用状況をみましょう。「スマートフォン」の利用率は99%に達しています。他方「タブレット端末」利用率は、全体の19%で、文系よりも理系で高い傾向があります。スマートフォンとタブレット端末の両方を利用している学生は2割となります。理系4年以上では4人に1人が両方を利用しています。

表11 文理・学年別にみた電子通信機器の利用状況(複数回答) (%)

	N	スマートフォン	携帯電話(スマートフォン除く)	タブレット端末	いずれも利用していない
全体	3896	99.2	4.0	18.9	0.1
文系1年	950	99.3	3.4	16.8	0.1
文系2年	784	98.9	4.8	19.6	0.0
文系3年	697	98.9	3.7	18.1	0.0
文系4年以上	667	99.4	4.9	17.5	0.0
理系1年	224	99.6	3.6	21.4	0.0
理系2年	179	98.3	6.1	23.5	0.6
理系3年	210	99.5	1.0	21.9	0.0
理系4年以上	185	100.0	3.8	24.3	0.0

学生たちは、どの機器を使って、各種 SNS (Facebook、Twitter、LINE、Instagram) を利用しているのでしょうか。使用している機器をすべてあげてもらいました。まず、4種の SNS の利用状況を確認すると、表12の「利用している」欄のとおり、「LINE」はほぼ全員が利用しています。ついで「Twitter」84%、「Instagram」76%と高率ですが、「Facebook」は43%にとどまっています。興味深いことに、Facebookの利用率は高学年ほど高く、かつ理系より文系で高い傾向があります。文系1年では22%にすぎませんが、文系4年以上では61%に達しています。

つぎに SNS の利用状況を、「PCから見る」、「(同じく)書き込む・投稿する」、「スマートフォン・タブレット端末・携帯電話から見る」、「(同じく)書き込む・投稿する」で複数回答してもらったところ、SNSの種別ごとに使用機器は異なる結果となりました。もっとも利用率の高いLINEをみると、ほとんどの学生が、「スマートフォン・タブレット端末・携帯電話」を使って閲覧、書き込みをしています。学年が高いほど「PC」を使っただけの利用の比率も高くなります。同様の傾向は、TwitterとFacebookにもみられます。また、LINEの場合には、閲覧と書き込み・投稿の比率がほぼ同水準です。しかし、TwitterとFacebookの場合は、「スマートフォン・タブレット端末・携帯電話」では、閲覧の比率が書き込み・投稿を大きく上回っています。これらの SNS は、閲覧するだけの学生と、投稿もする学生とに分かれるようです。Instagramについては、Twitterと同様の傾向がみられます。

表12 文理・学年別にみた SNS 利用での電子通信機器の使用状況 (複数回答)

(%)

		利用している					いずれからも利用していない
		利用している	PCから見る	PCから書き込む・投稿する	スマートフォン・タブレット端末・携帯電話から見る	スマートフォン・タブレット端末・携帯電話から書き込む・投稿する	
Facebook	全体	42.7	12.3	4.3	38.2	10.8	57.3
	文系1年	21.9	8.8	2.1	27.4	6.2	69.1
	文系2年	41.7	11.6	3.7	37.2	11.8	58.3
	文系3年	50.4	14.3	6.6	44.7	12.2	49.6
	文系4年以上	60.9	17.2	7.4	56.5	17.1	39.1
	理系1年	28.6	8.9	1.8	24.6	8.5	71.4
	理系2年	32.0	9.6	3.4	28.1	8.4	68.0
	理系3年	37.3	12.9	2.9	33.5	6.7	62.7
	理系4年以上	47.3	14.7	3.3	39.7	11.4	52.7
Twitter	全体	84.2	16.4	11.1	75.4	47.3	15.8
	文系1年	80.4	14.9	8.2	72.6	39.1	19.6
	文系2年	85.4	14.1	11.0	76.1	48.7	14.6
	文系3年	86.9	15.0	10.5	75.9	49.9	13.1
	文系4年以上	85.5	17.6	11.4	77.0	52.0	14.5
	理系1年	79.4	18.8	13.0	71.7	41.3	20.6
	理系2年	86.6	19.6	16.8	78.8	51.4	13.4
	理系3年	86.6	21.5	14.4	78.0	55.0	13.4
	理系4年以上	84.9	23.2	15.7	77.3	51.9	15.1
LINE	全体	99.4	39.1	38.5	83.8	79.3	0.6
	文系1年	99.7	28.5	24.7	84.8	74.8	0.3
	文系2年	99.2	37.2	35.5	82.9	80.6	0.8
	文系3年	99.3	40.7	42.2	81.7	77.8	0.7
	文系4年以上	99.1	42.6	45.6	83.6	82.1	0.9
	理系1年	99.6	30.8	26.3	83.5	78.6	0.4
	理系2年	100.0	48.6	50.8	84.9	83.2	0.0
	理系3年	99.0	62.7	63.6	88.5	86.1	1.0
	理系4年以上	100.0	56.2	56.8	84.3	82.7	0.0
Instagram	全体	76.4	6.4	—	64.3	53.6	23.6
	文系1年	80.2	6.8	—	67.7	53.8	19.8
	文系2年	82.0	6.0	—	68.7	60.0	18.0
	文系3年	77.2	6.9	—	61.6	57.0	22.8
	文系4年以上	76.9	7.1	—	65.3	55.2	23.1
	理系1年	62.5	6.7	—	58.0	37.9	37.5
	理系2年	66.5	5.0	—	59.2	47.5	33.5
	理系3年	69.9	5.3	—	61.7	46.4	30.1
	理系4年以上	62.7	4.3	—	51.4	41.1	37.3

大学公式メディア

本調査では、本学が発行している4種のメディアをとりあげ、それぞれについて「あなたは以下の大学公式メディアを知っていますか」そして「読んだことがありますか」と尋ねています。その結果、全体では、60%が『早稲田ウィークリー』を、24%が『早稲田学報』（校友向け）を、15%が『CAMPUS NOW』（保証人向け）を知っています。しかし、卒業生向けの『西北の風』は3%にとどまっています（図は省略）。

学生向けの『早稲田ウィークリー』を文理・学年別にみると、図19のとおり、理系よりも文系で、低学年よりも高学年で「知っている」比率が高くなっています。しかし、実際に「読んだことがある」比率は全体では30%程度です。理系よりも文系で、低学年よりも高学年で高く、文系3年・4年以上では40%を超えています（図20）。

なお、『早稲田ウィークリー』はWebマガジんで、授業期間中の平日は毎日更新していますが、そのアクセス頻度は、残念ながら活発ではありません。「アクセスしたことがない」は6割に達しています（図は省略）。

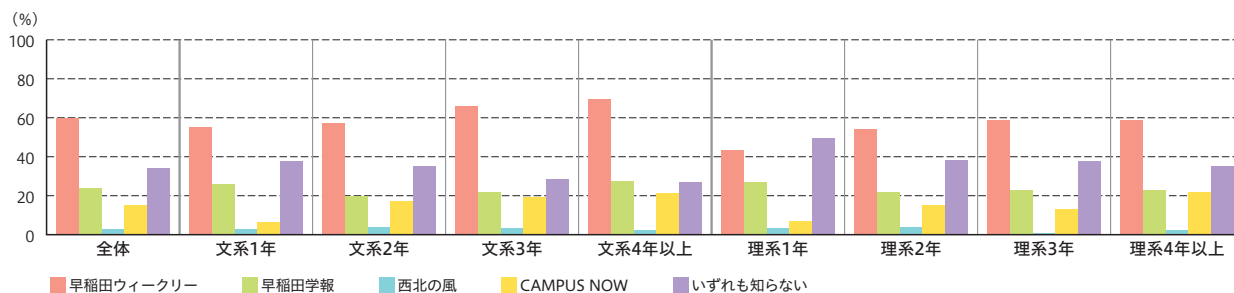


図19 文理・学年別にみた「大学公式メディアを知っているか」(複数回答)

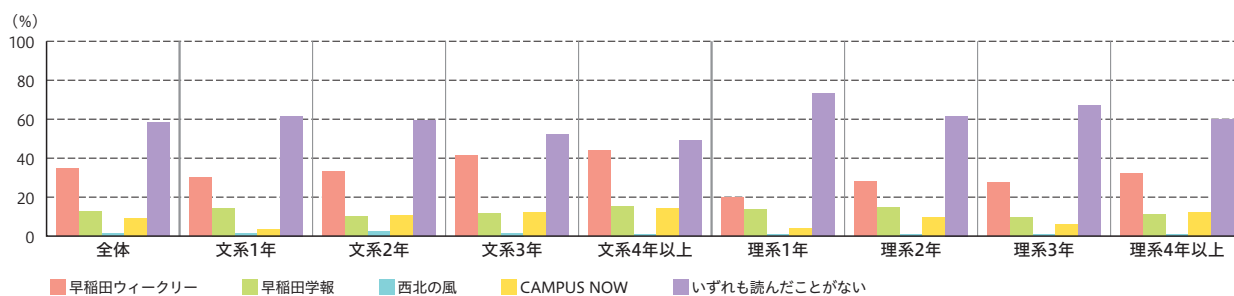


図20 文理・学年別にみた「大学公式メディアを読んだことがあるか」(複数回答)

最後に、学生部が発行している手帳『早稲田大学キャンパスハンドブック』の使用状況についてみておきましょう。図21のとおり、全体では、「毎日持ち歩き、メインの手帳として使用している」比率は12%にとどまっています。「通常使用する手帳ではないが、時々利用している」は17%です。これを文理・学年別にみると、理系よりも文系で、高学年よりも低学年で使用頻度は高いようです。文系1年・2年・3年では、14%ほどが「毎日持ち歩き、メインの手帳として使用」しています。また文系1年生は26%が「通常使用する手帳ではないが、時々使用」しています。

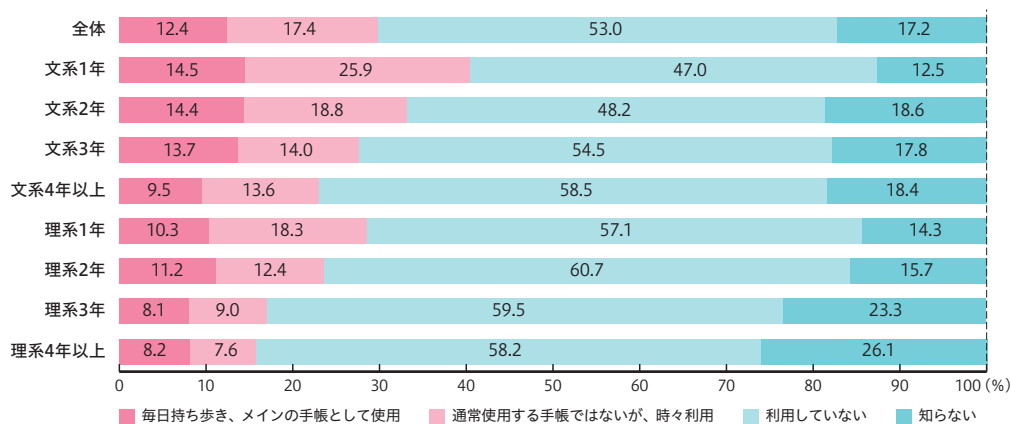


図21 文理・学年別にみた『早稲田大学キャンパスハンドブック』の使用状況